

5年生『丹波篠山市学力状況調査』の結果について

4月18日に実施しました「丹波篠山市学力状況調査」の結果を報告します。5年生は、国語で目標値を達成していました。理科もほぼ目標値を達成していました。算数は目標値を下回る結果となりました。学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学力向上や学習習慣の改善、学校の教育活動に対して、支援の程よろしく申し上げます。

問題内容（問題数）		正答率（％）	5年	
			目標値	本校
国語	○成果	話し合いの内容を聞き取る（3問）	76	△81
	○成果	言葉の学習（3問）	61	△70
	●課題	説明文の内容を読み取る（3問）	68	▼60
算数	○成果	億と兆・がい数の表し方（2問）	70	△73
	●課題	数と計算【計算の復習・わり算・分数・小数】（8問）	82	▼62
	●課題	わり算の文章題（2問）	66	▼56
理科	○成果	天気の様子と気温（2問）	80	△85
	●課題	1年間の動物のようす、植物の成長（3問）	80	▼70

※目標値は、学習内容に対して正答できることを期待した児童の割合（点数）です。

< 5年国語 >

○成果・・・話し合いの内容を聞き取る・言葉の学習

「話し合いの内容を聞き取る（CDを聴いて問いに答える）問題の正答率は、81%（目標値76%）でした。これは、普段の授業で友だちの話の中心（伝えたいこと）を捉え、自分の考えと比較しながら聞こうとする児童が多いことが要因の1つです。今後は、友だちの話し方の工夫や良さにも目を向けさせていきます。

「言葉の学習」の正答率は、70%（目標値61%）でした。漢字辞典の使い方や指示語の使い方の正答率が高い結果となりました。これは、授業で漢字辞典の使い方について丁寧に指導するとともに、漢字辞典を使う場面を多く設定した成果だと考えています。

●課題・・・説明文の内容を読み取る

「説明文の内容を読み取る」問題の正答率は、60%（目標値68%）でした。段落のまとまりを理解して、文章の内容を的確に読み取ることができていません。「物語の内容を読み取る」問題も目標値を少し下回っていることから、読解力に課題があります。今後は、文章の内容を読み取る力の向上につながる授業を行うとともに、読書の時間を充実させ、様々な文章を読む機会を増やしたいと考えています。

【課題のあった問題】

4 調査※ちようさのときにオオハクチョウのあしにふれたことがあるのですが、とても冷たいことにおどろきました。

それは、ハクチョウのあしに流れている血液けつえきが冷たいからです。あしのつけ根には熱交換器ねつこうかんきのようなものがあります。あしから入ってくる冷たい血液をあたたためて体内に入れ、体内からあしへ出ていく血液を冷やします。あしに流れている血液はいつも冷たいため、冷たい氷の上に立っていてもだいじょうぶなのでしよう。

5 きびしい寒さの早朝。静かな時間。氷の上にはうっすらと雪が積もり、ハクチョウのあしあとがくつきりと残っています。ハクチョウがどこをどう歩いたのか、想像そうぞうすることは楽しいことです。

(嶋田哲郎しまだてつお「ハクチョウ 水べに生きる」より)

※注 調査…筆者はハクチョウの研究をしている。

① 「熱交換器のようなもの」は、どのようなはたら

きをしますか。次から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 体全体があたたかくなりすぎたときに、冷たい血液を全身に流して体全体を冷やす。
- 2 体全体が冷たくなりすぎたときに、あたたかい血液を全身に流して体全体をあたたためる。
- 3 あしから体の中に流れてくる血液をあたたため、体の中からあしへ流れていく血液を冷やす。
- 4 あしから体の中に流れてくる血液を冷やし、体の中からあしへ流れていく血液をあたたためる。

「2」と答える児童がおよそ3割いました。たしかに、血液をあたためるという内容は文章中にあります。ただそれだけでは不十分です。

血液をあたためるだけでなく、血液を冷やすことも書いてある「3」が正解です。

「熱交換器のようなもの」という言葉の説明について書かれている部分を文章全体から見つける(読み取る)ことができていません。問われている内容が文章全体のどこに書かれているかを読み取る力を身につけることが大切です。

語彙を豊かにすることを含め、国語力の向上には、学校の授業以外の時間に、本や新聞などを読み、多くの言葉や文字に触れることが大切だと考えています。

【正解】 3

岡野小 ▼ 62%
目標値 75%

< 5年算数 >

○成果・・・億と兆・がい数の表し方

「億と兆・がい数の表し方」の正答率は、73%（目標値70%）でした。これは、授業で、位取り板や図などの具体物を使って、視覚的に大きな数の「位について」の意味理解を図ったことや、億や兆の大きな数を4けたで区切って読むことを徹底して指導した成果です。また、学校や家庭で繰り返し練習問題に取り組んだことも要因です。

●課題・・・数と計算

「数と計算」の正答率は、62%（目標値82%）でした。整数のわり算、小数のひき算、分数のたし算とひき算等、基礎的な計算が正確にできていません。今後は、朝のスキルタイムで基礎的な計算プリントに重点的に取り組みます。また、家庭学習でも取り組めるように計算プリントを用意します。

【課題があった問題】

(3) $5.3 + 4 = 9.3$

誤答で5.7と解答している児童が多くいました。この問題は筆算で計算すると、右端に数字をそろえてしまいミスにつながります。同じ位の数字をたすという基本を理解し、位に気をつけて正確に計算する力を身につけることが大切です。

(5)(6)の分数の計算では、帯分数を仮分数に直して計算する問題にミスが多くありました。帯分数を仮分数に正しく直すこと、帯分数を仮分数に直す式(途中式)を必ず書いてから答えを求めることが大切です。

1 次の計算をしましょう。

(1) $59 \div 7$

(商は整数で答えて、わりきれないときはあまりもだしましょう。)

(2) $928 \div 24$

(商は整数で答えて、わりきれないときはあまりもだしましょう。)

(3) $5.3 + 4$

(4) $10.1 - 9.78$

(5) $\frac{5}{7} + 2\frac{4}{7}$

(6) $2\frac{2}{5} - \frac{3}{5}$

(7) 7.4×8

(8) $8.97 \div 23$ (わりきれるまで計算しましょう。)

問題 (3)

【正解】9.3

岡野小▼ 40%

目標値 75%

問題 (5)

【正解】 $2\frac{3}{7}$ (3 と $2\frac{4}{7}$)

岡野小▼ 57%

目標値 75%

問題 (6)

【正解】 $9\frac{1}{5}$

(1と $4\frac{1}{5}$)

岡野小▼ 68%

目標値 80%

< 5 年理科 >

○成果・・・天気の様子と気温

「天気の様子と気温」の正答率は、85%（目標値80%）でした。授業の中で、子どもたちが「なぜだろう」と疑問に思ったことをもとに予想を立て、疑問を解決するために実験や観察を行い、結果や分かったことをもとに考えを深めていくという授業に取り組んできた成果だと考えられます。

●課題・・・1年間の動物の様子、植物の様子

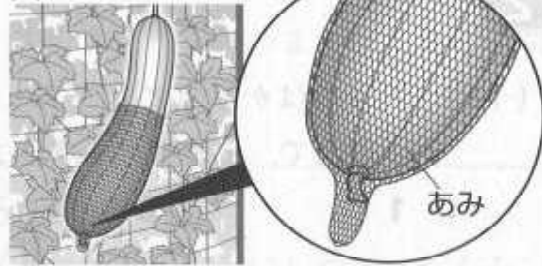
「1年間の動物の様子、植物の様子」の正答率は70%（目標値80%）でした。「サクラの枝」の絵と「葉が黄色や赤色になる」という言葉から季節を選択する問題で、正解の「秋」ではなく「冬」を選択していた児童が多くいました。

オオカマキリの1年間の様子（春→よう虫、夏→活発に活動、秋→たまごをうむ、冬→たまごのまま）の変化の理解にも課題がありました。季節毎の動植物の様子について十分理解ができていません。今後は、教室だけの学習でなく、フィールドワーク等、自分の目で観察したり実験したりして、学びが印象に残る授業づくりをしていきます。

【課題があった問題】

(3) 夏が終わり、秋になってすずしくなってきたころ、先生がへちまの実に、図3のようなあみをつけていました。ゆみさんと先生は、次のように話しています。

図3



ゆみ「へちまの実にあみをつけたのはなぜですか。」

先生「あみをつけたのは、へちまの実の中にできる(あ)を集めやすくするためです。土の上に落ちてしまうと集めにくいですからね。」

上の会話の(あ)にあてはまる言葉を書きましょう。

約3割の児童が正解の『種』と解答できていません。「何のためにへちまの実にあみをつけたのか」理解できていません。無回答の児童もいました。文章全体をしっかりと読んで問われている内容を的確に捉えることが大切です。

今後は、実験の際に「なぜ〇〇をするのか。」実験の目的や意味を明確にした授業をしていきます。

【正解】 種

岡野小▼	71%
目標値	85%